

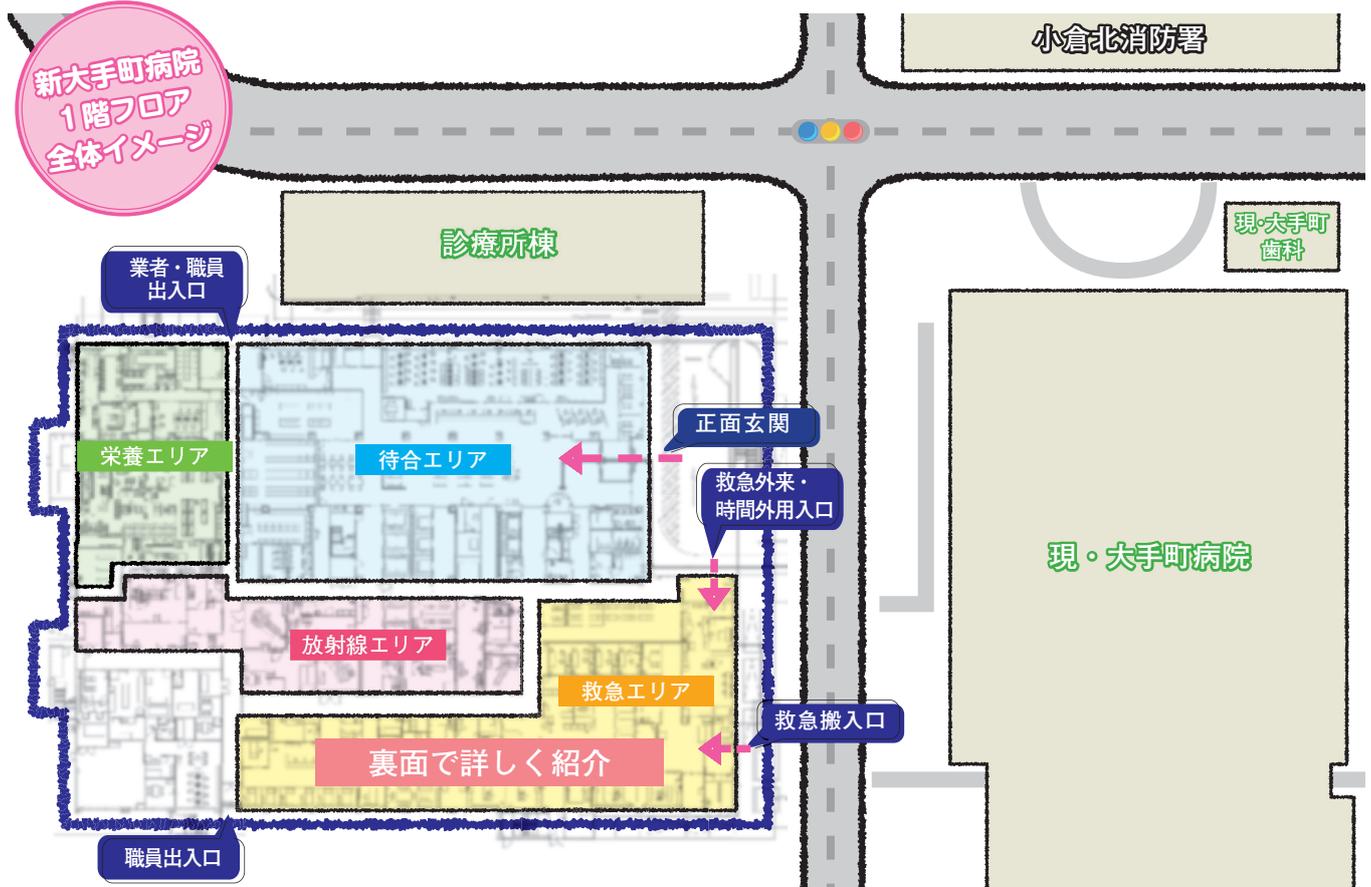
# 新病院建設 News

## ■ 今回は、新病院の1階と救急エリアをご紹介します

1階フロアは大きく分けて受付、待合、患者サポートセンター、救急、放射線検査、厨房となります。待合エリアには売店やイートインスペースもあり、今後このニュースでも詳しく紹介していきます。  
今回は裏面で救急エリアを紹介します。

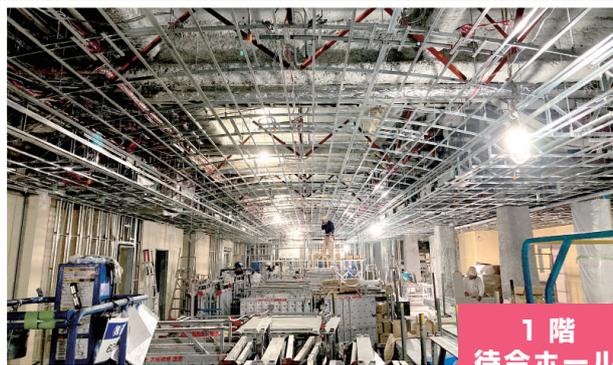


新大手町病院  
1階フロア  
全体イメージ



## 新病院の建設が 進んでいます

新病院内の工事がすすんでいます。全体では約80%の完成度となっていて、現在は内装ドア等建具の取り付けもはじまりました。これからは内装工事が中心となってくるので一気に出来上がっていく予定です。



1階  
待合ホール



病棟  
4床室

# 救急エリア

新病院建設ニュース Vol.22 (HP 掲載) で一度救急エリアを紹介しましたが、図面やポイントがより詳細に決まりましたので再度紹介します。

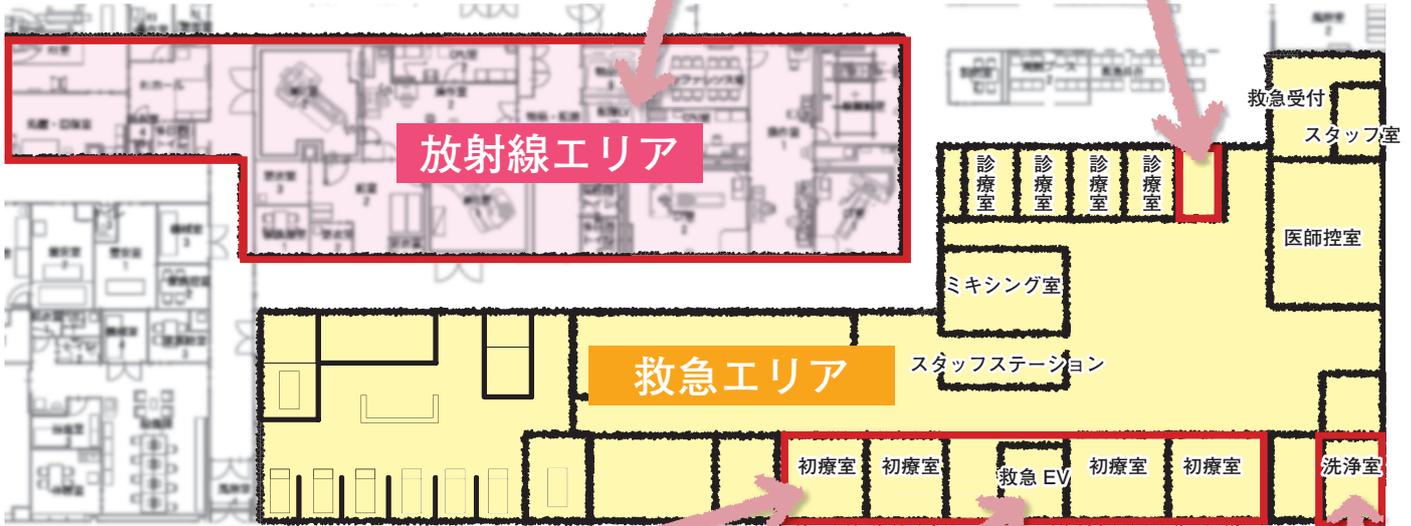
## Point 放射線科との連携

救急エリアと放射線科が隣接し、緊急度の高い患者さんもすぐに検査ができる配置となっています。



## Point トリアージ室を設置

来院された患者さんの治療の緊急度を判断するためにトリアージ室を設置しています。



## Point 重症患者さん用の治療室が増えます

初療室が1室増え4室となります。特に重症な患者さんは、初療室1、2に搬入して治療を行います。より一層地域の救急受入の役割を担います。



## Point 救急専用エレベーター

救急外来に運ばれてきた重症な患者さんがすぐに手術や検査を受けられるよう、救急専用として1～3階(手術室)をつなぐエレベーターを設置しています。

## Point 洗浄室を新設

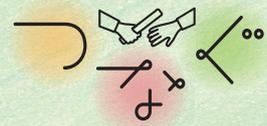
救急入り口付近に洗浄室が新設されます。化学薬品等で汚染があり、洗浄が必要な場合は搬入時すぐに対応することができます。



さらなる安心を

# ひとことリレー

健和会と患者さんを



新大手町病院竣工に向けて、  
新病院にかける意気込み・各部門の特徴を紹介します！

健和会大手町病院は、北九州市内最多の年間7,000台以上の救急搬送の受け入れを行っています。新型コロナウイルスの感染拡大で、北九州市消防局の出動件数が前年比90%と減少している中で、当院の搬入数は前年とほぼ同数の受け入れとなっています。搬入数はほぼ同数ですが、北九州市内に占める救急車搬入率は前年の14.5%から15%と増加しています。今後も、地域の医療機関や福祉施設と連携し、必要なニーズに対応できるようにスタッフ一丸となり日々奮闘していきます。

新病院では、救急外来の診療フロアのスペースが広くなりますが、スタッフだけでなく、各部門と連携・協力しながら安心安全の医療体制で救急外来の役割を果たしていきたいと思ひます。



救急外来  
救急病棟